

第2回 学内セミナー 開催される

医工融合健康プログラム セミナー

去る2018年1月12日(金) 16:00~18:00に第2回学内セミナーが開催されました。

場所は、中部大学50号館2階 5122講義室で、お二人の学外講師を招いて、ピロリ菌と慢性胃炎・胃癌に関する基礎医学および実地臨床からの研究情報を紹介していただきました。

講師は、

第一部が、中山 淳先生(信州大学大学院医学系研究科 分子病理学教室教授)による、「抗ピロリ菌糖鎖の本来の役割は？」

第二部が、春日井 邦夫先生(愛知医科大学消化管内科教授)によって、

「Helicobacter pylori 診療 up-to-date」というタイトルのもとに、各々の専門的取り組みの最先端の結果をご報告いただき、討論を行いました。

参加人数としては、全体で44名(学生院生36名、教員8名)ということで、おもに中部大学の学生、院生、教員が参加しました。

内容的には、炎症から慢性炎症状態を経て悪性腫瘍に至るプロセスの理解の深まり、宿主のピロリ感染に対する防御反応、炎症反応が誘導する癌化メカニズムとその防衛対策のあり方、等、本プロジェクトの主旨に合致した興味深いトピックスが紹介されました。また、人種の違いによる病像経過の差異など、新鮮な情報が多く含まれており、講演後に活発な討論と質疑応答が展開されました。

アンケート 集計結果(総数 43部)は以下の通りです。

問1. 講演の内容は興味がありましたか？

答1. a. 非常に興味があった(33%)、b. やや興味があった(67%)、c. どちらともいえない、d. やや興味を持てなかった e. 全く興味を持てなかった いずれも(0%)

問2. 講演の内容は理解しやすかったですか？

答2. a. 非常に理解しやすかった(56%)、b. やや理解しやすかった(44%)、c. どちらともいえない、d. やや理解しにくかった、e. 全く理解しにくかった、いずれも(0%)

問3. 質問2で、「d. やや理解しにくかった」「e. 全く理解しにくかった」と答えられた方にお尋ねします。具体的に理解しにくかった点は何ですか？

該当なし

問 4. 教員・研究者の方にお尋ねします。今回の講演は貴方の研究活動や教育活動に役立ちましたか？

答 4. a.非常に役立った (50%)、b.やや役立った (38%)、c. どちらともいえない (12%)、
d. あまり役立たなかった、 e. 全く役立たなかった いずれも(0%)

問 5. 学生・大学院生の方にお尋ねします。今回の講演は貴方の今後の進路決定や研究活動に役立ちましたか？

答 5. a.非常に役立った (19%)、b.やや役立った (44%)、c.どちらともいえない (33%)、
d. あまり役立たなかった (3%)、e. 全く役立たなかった (0%)

問 6. 学生・大学院生の方にお尋ねします。日頃の講義とは違う、新鮮な情報が得られましたか？

答 a.そう思う (97%)、b.どちらともいえない (3%)、c.そう思わない (0%)

問 7. 今回の講演は貴方の健康管理や予防意識向上に役立ちましたか？

答 7. a.非常に役立った (58%)、b.やや役立った (35%)、c.どちらともいえない (5%)、
d. あまり役立たなかった、e. 全く役立たなかった いずれも(0%)

問 8. 今後もこのようなセミナーの開催を望みますか？

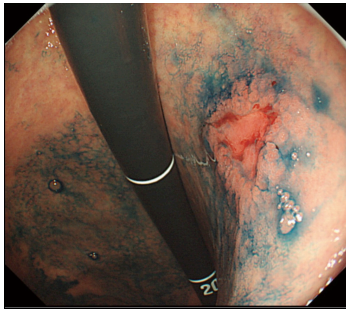
答 8. a.望みます (51%)、b.どちらともいえない (44%)、c.望まない (0%)

問 9. 質問 8 で「a.望みます」と答えた方にお尋ねします。今後どのような分野のセミナーを望みますか？

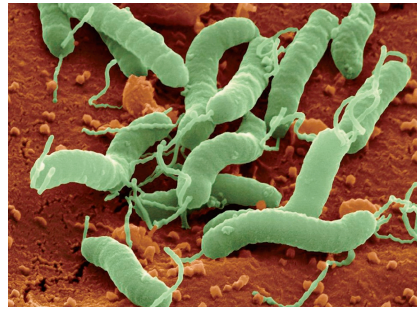
回答

- ・座学で学んでいることが臨床で重要となることを再認識できるので、春日井先生がお話下さった様な臨床研究のセミナーを聞きたいです。
- ・今回のように身近な疾患についてのセミナーがよい
- ・生理学分野
- ・運動器障害に関するセミナー
- ・知的障害の分野
- ・がん、遺伝子、血液の分野
- ・本日のような大学病院で研究されているお話、臨床的なお話にも興味が広がりました。
- ・血液疾患についてなど
- ・ピロリ菌の知識がついてよかったです

- ・ 今回のような医工融合のもの、他にも画像処理等を主とすることをこなしている方々のセミナー
- ・ 悪性リンパ腫関連
- ・ 神経系（自律神経や交感神経など）



胃癌の内視鏡像
(春日井先生より御提供)



ピロリ菌の電顕写真